

Book Preview

富山高校図書館 2025.4



『ラーゲリより愛を込めて』

辺見 じゅん【著】

「生きる希望を捨ててはいけません。帰国の日はずっとやって来ます」シベリアで捕虜として死と隣り合せの日々を過ごしながらも、家族を想い仲間を励まし、懸命に前を向く男がいた—山本幡男の壮絶な半生と、夫の無事を信じ11年間待ち続けた妻との夫婦愛、捕虜となった仲間達との絆を描く。心震わす感動の実話。二宮和也・北川景子が出演した映画『ラーゲリより愛を込めて』究極の愛を描く感動巨編映画ノベライズ。

『富山のすしはなぜ美味しい』

巽 好幸／土田 美登世【著】

美味しいすしとは何か——。富山のすしの背景には、大地変動の歴史と人びとの営みがあった。能登半島が迫り出す深海・富山湾と、北アルプス・立山連峰による4000メートルの高度差。この地形が多様な生態系を生み出し豊穡の海がつけられた。よそにはない新鮮かつうま味の多い富山のすしが、どのように生まれ育まれてきたのか、起源と歴史そして味わいを科学する。ふんだんな美しいカラー写真と図版によるビジュアルブック。



『小田くん家は南部せんべい店』

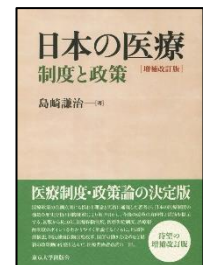
高森 美由紀【著】

青森県の片田舎にある「小田せんべい店」。小学4年生の弘毅は嫌だった。課外授業でクラスのみんなが家に来ることになったのだ。南部せんべいなんか、バカにされるに決まってる。しかし当日、不登校の同級生・潤が来たことで弘毅は南部せんべいを焼くことになり……。69年間せんべい一筋の祖父・よっしーを始め、家族みんなに見守られて弘毅は少しずつ大人になっていく。

『日本の医療』

島崎 謙治【著】

医療制度・政策論の決定版。医療政策の企画立案にも携わり理論と実務に通暁した著者が、日本の医療制度の構造を歴史分析と国際比較により解き明かし、今後の改革の方向性と道筋を提示する。初版から約10年。医療保険制度、医療供給制度、診療報酬制度のポイントをわかりやすく解説するとともに、地域医療構想、国民健康保険制度改革、医師の働き方改革など最新の政策動向を盛り込んだ、医療関係者必読の一冊。



『ゆうべのヒミツ』

室井 滋【著】

女性セブンで大人気連載中の『ゆうべのヒミツ』と夕刊フジで連載中の『瓢箪なまず日記』から室井さんが自ら厳選し、とっておきのエッセイを収録した傑作エッセイ集の第2弾です。昨年4月から、地元・富山県の高志の国文学館の館長を務めるなど、さらに活躍の場を広げる室井さんの面白い日常が赤裸々に綴られています。読むとグラグラ笑って明るい気持ちになって、元気がわくこと請け合いです。